“living our dream” Tour in the U.S.A

アドベンチャーライダー jasmine T Cardwell の

PHOTO&TEXT／jasmine T Cardwell

日本は梅雨の時期…。バイカーにとって、雨は決して嬉しい天候ではありませんが、それにめげずライディングしていますか？　さて今回は、アメリカのキャンプグラウンド事情を簡単に紹介し、ADVライディングで訪れたミシシッピ州などについてご紹介します

本名：**晃良 [テルミ] Cardwell**（36歳）
出身:愛知県豊橋市
特技:サーフィン、ゴルフ、武道（剣道二段、居合道四段、杖道参段→武道をやっていた経歴より、侍ライダーを名乗っています。）
バイク:BMW F650GS
www.samurai-rider.com
jasmine@samurai-rider.com

さて、テキサス州のダラスから南下し、ルイジアナ州（以下LA）を境に東海岸の南部の州へと入ってきました。東海岸の夏は高温多湿で、日本と良く似ている懐かしい気候に少し感激。緑の木々と久しぶりの再会を果たし、癒しを頂きながら、砂漠地帯とはしばしばお別れだと、その気候が教えてくれます。

しかし湿気の凄さもThe U.S.A!!!　お隣ミシシッピ州（以下MI）に入り、湿度の高さがまただんだん私のご機嫌を損ねていくことになろうとは、この段階ではまだ知る由もありませんでした…（笑）。

食べ物もだいぶ変わってきて、スイートティー（紅茶に砂糖を大量に加えた感じの味）がどこのレストラン、ファストフードショップにも登場します（かなり私好みの味で感激しました）。

また青々と茂る木々や牧草は、寒さ厳しい東海岸の冬の放牧業の営みを支え、至る所で放牧牛や見たことも無いくらいでっかいヘイ（牧草ロール）を見ることができます。のどか～な雰囲気が、高温多湿で不快な気持ちをリフレッシュさせてくれます。

でっかいヘイに乗ってみた！　後ろにも転がっているヘイの大群が見えますか？（MI州、ナチョズ・トレイス・パークウェイ）

食の文化の違い…冒険して食べてみると楽しい!?

LA州は、今私が最も興味のある州で、絶対にもう一度訪れたいと思っている州のひとつです。アメリカに居ながら異国にいる気分が味わえる州と表現するのが一番妥当でしょう。南部なまりの英語と独特の食文化など、非常に興味をそそります。州都はバトンルージュで、LA最大の都市は、観光地としても有名なニューオーリンズ。共に州の南東部に位置します。歴史的背景から、フランスやアフリカ系アメリカンの文化が色濃く残っており、ジャズの発祥地としても有名なのは、皆さんも耳にしたことがあるのではないでしょうか？

LA州のアレクサンドリアという街の手前で最初に立ち寄ったコンビニには、なんとなまずのから揚げが！　食べてみましたが、味は白身魚のよう。正直なところ、感動的な美味しさはありませんでしたが…。

なまずのから揚げ初体験です。　そしてスッピン無礼講～！

走り進めて次に立ち寄ったのは、地元のザリガニ屋さん。ザリガニを食べてみました。大きな釜で一気に茹で上げられ、それにケイジャンスパイスをまぶし、スーパーのビニール袋に入れてグラム（現地の単位はパウンド）売りされます。この適当さが何ともアメリカ～！　味はとにかくスパイシー！　食べられる部分は少ないにも関わらず、ケイジャンの味が濃すぎるのと、何となく泥臭さが残る味でした。他のレストランで食べてみた、ザリガニのサラダとザリガニのパスタは美味しかった！　海老と似たような奴らなのに、何でこんなに味気ないのだろうと真剣に考えちゃいましたよ…（笑）。なまずとザリガニはLA州をはじめとする南東部の地域では普通に食べられています。皆さんに馴染みのある料理は、先にも記したケイジャンやジャンバラヤではないでしょうか？　他にもガンボスープやオイスターロックフェラーなど、独特の食文化が楽しめる州です。

（上）ザリガニを蒸したものにケイジャンスパイスをまぶしたもの　（右）ザリガニのクリームパスタ

美しく自然の多い道ライディングにおすすめ

MI州に入ると湿気（不快指数）はさらに高まる…。そんな中、道路の脇にはこんなものが!!　アリゲーターの屍です！　生まれて初めて見た光景に、思わずカメラを向けずにはいられませんでした。

MI、テネシー州（以下TN）、ノースカロライナ州は、Scenic Highway（景色が美しい道路）と呼ばれるきちんと整備された国立道路が多く存在し、とても走り易く、お勧めのライディングスポットが多く点在します。

LAとの州境付近のMI州から始まる、Natchez Trace Parkway（ナチョズ・トレイス・パークウェイ）は、州のほぼ中央に位置する州都ジャクソンの北西を経てMIを右斜めに北上する形で、アラバマ州、TN州はナッシュビルまで続く、全長444マイル（約720km）　の穏やかなScenic Highwayです。歴史的な国道で、国の保護下にある道路であり、野生のシカや七面鳥などと遭遇することが多く、法定速度は40マイル（約60km）に指定されています。そのため国立道では、大型のトラックの走行は一切禁止されており、一般の乗用車とバイクのみが走行可能です。

また、ここナチョズ・トレイスでは、約100kmにも及ぶハイキングコースがあり、州の歴史的背景と共に、美しい景色も堪能できます。

MI州：　アリゲーターの屍だ～!!!　これには超～驚き！

MI州：ナチョズ・トレイス・パークウェイで束の間のお昼寝～zzz…

MI州：のどかな放牧牛たちがパーク内にも！

アラバマ州～TN州：ナチョズ・トレイス・パークウェイの上で州をまたぎます

さて、ナチョズ・トレイス・パークウェイを260マイル（約420km）北上すると、MI州の北東部に、トゥペロという町があります。エルビス・プレスリーの生家があることで有名で、現在は、生家がそのまま博物館となっています。町中の至る所にエルビスの写真等が掲げられており、彼一色になっている小さな田舎町です。

エルビスの生家と、彼が15歳の時のモニュメント

さらに北上を続け、アラバマ州を約20マイル（約33km）走りぬけるとTN州に入ります。州都はナッシュビルで、州のほぼ中央に位置し、カントリーミュージックの聖地として知られています。カントリーミュージックと言えば、ウエスタンブーツにカウボーイハット、アコースティックギターが定番のスタイルで、ストリートミュージシャンを至る所で目にします。もちろんナッシュビルのダウンタウンには、ウエスタンブーツのお店が軒を連ねていました（沸き上がる購買欲を抑えるのに必死なjasmineでした…。）！

私が滞在した6月上旬は、アメリカ最大級のカントリーミュージックの祭典が開催されている時期にかぶり、キャンプグラウンドが何と1泊＄100!!!　これにはマイケルと共にOMG！

またTNといえば、カジノホテルではないインドアホテルで、アメリカ最大のホテル、ゲイロード・オプリーランドリゾート・アンド・コンベンションセンターが有名です。ホテルの中は大変優雅な作りで、宿泊しなくとも一見の価値はあり。ホテルの中をボートで巡れるアトラクションがあるなど、何処にいるのかと感覚が麻痺するほど、ゴージャスな場所です。

来月はグレートスモーキー山脈と、そこからのADVライディングをお届け！　それでは、”living our dream, living my journey” I will see you next month!!!

ナッシュビル：カラオケは今や、世界共用語になっています。極端に英語で発音すると、「キャラオキー」

想像以上に過酷!?アメリカのキャンプ事情

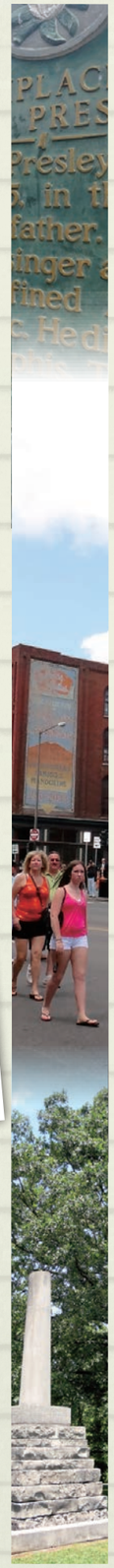
2～3日間の仲間たちとのキャンプならとっても楽しいですよね！　しかしADVライダーにとって、キャンプは生活の一部になるわけです。私にとっては何十年ぶりのキャンプで、アメリカでは初めてだったということもあり、最初の2～3日はドキドキワクワク…。しかし、来る日も来る日もキャンプとなるとだんだん飽きてくるし、疲れが溜まってくるのは皆さんにもご想像して頂けると思います。1週間を過ぎた頃から不機嫌jasmine出現（笑）！　実はキャンプ生活が始まって1週間、まともに睡眠を取れませんでした。マイケル（主人）が一緒で、しかも安全だとされるアメリカのキャンプグラウンドですが、それでも日常とはかけ離れた寝床。虫の声、時折聞こえる謎の動物の鳴き声、高速道路付近では大型トラックが地面を揺らすほどのノイズ…。テキサスでは大型の台風に見舞われ、一晩中稲光と雷音、そして豪雨…。安全とはいえ、いつ何が起こってもおかしくない国アメリカ！　しかし、慣れって怖いものですね。人間どんな状況でも慣れるものなのです。旅の終盤には、マイケルが感動するほどのキャンパーに（テントを建てるのも、片づけるのも手際よく出来るようになりました。慣れだ、慣れ！）！

KOAキャンプグラウンドの看板。こんな感じなので、すぐ目につきます。ちなみに、手前にいるのはバッファローです

先に書いたように各キャンプグラウンドによって異なりますが、広さはおよそ8～12畳間位で、そこにキャンピングテーブル、BBQグリル台と電源プラグ、水道が設置されているところがほとんどです。私が使用しているテントは3人用なので、このスペースがあればサイドにバイクを駐輪することも出来ます。

1泊料金は、平均＄20～30の間で、メンバーになるとそこから割引が適用されます。KOAキャンプグラウンド以外のキャンプサイトも利用しましたが、前回号までに紹介したグランドキャニオンや、ヨセミテ国立公園内のキャンプサイトは1泊約＄10、その他のキャンプグラウンドは、トイレ、シャワー付きで＄5という所もありました。国立公園内以外の安値のキャンプグラウンドはとにかく汚ない所が多かったです。でも＄5ならそうだろうなぁと納得…。またRVキャンプ専門のキャンプグラウンドでも、場所によってはテントを張らせてくれるところもあります。その際はかなり割安で泊めてくれました。

KOAキャンプも含めてですが、もしもアメリカのキャンプサイトでシャワーを使用する場合は、絶対にビーチサンダルを履いたままシャワーを使用しましょう！　これはアメリカ人のキャンパーの方々からの口を揃えての助言です!!

女の子だもの、お肌のお手入れも必要なの…。テントの中でパックする私♥

さて前置きはこのくらいにして…。アメリカの最も有名なキャンプグラウンドは、KOAキャンプグラウンド（http://koa.com）が挙げられます。アメリカ全土で約450か所以上あり、メンバーシップ制で割引や特典等を受けられます。KOAの多くは、主に国立公園や州立公園などの観光スポットの近郊にあり、立地がよく送迎バスが出ている場所もあります（ナイアガラの滝、ナッシュビルTNなど）。各々のキャンプグラウンドや立地、州によって多少異なりますが、シャワー、トイレは常備、電源プラグ、インターネット、Wifi接続もほぼあり、プール、ジャグジーやレストランまである所もあります。RVサイト（キャンピングカー）、テントサイト、キャビン、その他に分類されます。今回はテントサイトのみを簡単に紹介します。